Joy風
Faculty of Informatics
Shizuoka University Newsletter
Vol.24, April 2020
http://www.inf.shizuoka.ac.jp
April2020
vol.24
静岡大学情報学部

行事報告 Report of events

テクノフェスタ in 浜松

テクノフェスタ実行委員会　大木 哲史

テクノフェスタ in 浜松は一般市民の皆様を対象とし、情報学と工学に関する技術・学術の最先端情報に触れていただける多数の展示、研究室公開、体験型実験イベントなどからなる年に一度の催しです。浜松キャンパスの教職員と学生の皆さんが一体となって運営に取り組んでいます。令和元年度テクノフェスタ in 浜松は 2019 年 11 月 9 日（土）・10 日（日）の両日にわたって開催され、晴天の下 2 日間で約 1.4 万人（昨年度約 1.3 万人）の入場者がありました。例年同様に、静大祭、ホームカミングデイ、保護者懇談会、公開市民講座、秋季オープンキャンパスに加え、学生サークル主催の露店や音楽ライブイベントなどで活気あふれる 2 日間となりました。情報学部では、科学技術の面白さや楽しさを体験する「キッズ・サイエンス」や「おもしろ実験」、最新の研究テーマに触れることができる「研究室公開展示」などが行われ、日ごろの教育や研究を地域の子どもたちや市民の方々に知ってもらうよい機会となりました。当日の様子は、インターネットで公開されており、以下の URL からご覧いただけます。ぜひこの機会に、浜松キャンパスや情報学部の雰囲気を体験しにお立ち寄りください。

静大 TV　https://sutv.shizuoka.ac.jp/video/169/2298

テクノフェスタ(2019年11月10日)

ホームカミングデー

同窓会ワーキンググループ　田中、石川、杉山

11 月 9 日（土）15 時 30 分より情報学部 2 号館大会議室において、「第 10 回ホームカミングデー」が 3 時間にわたり開催されました。同窓生、院生、学部生、退職された教職員、在職教職員合わせて 60 名余が集い、お酒やオードブルを楽しみながら、交流を深めました。

今年度も、懇親会に先駆け、昨年度大好評だった「私の仕事とキャリア」をテーマに、卒業生４名がプレゼンテーションを披露してくれました。同期の卒業生がプレゼンすることを知って集まった卒業生や教職員も多数おり、懇親会では互いの近況を語り合う姿があちこちで観られ、とても有意義な同窓会になりました。また、情報学部の卒業生が多方面で活躍していることをあらためて実感できる機会にもなりました。浜松工業会からは浜松支部組織委員の伊藤さま、澤井さま、小栗さまにもお越しいただき、ご挨拶を賜りました。

同窓会の様子は、facebook の情報学部同窓会のページでも見ることができますので、是非ご覧ください。

来年も多くの卒業生が来場されることを期待しています。

情報学シンポジウム 2019

情報学研究推進室　西村 雅史

2017 年に新講義棟落成を記念して始まった「情報学シンポジウム」ですが，本年も情報学領域の研究に従事する学生に研究成果発表の場を提供することを主な目的として 12 月 24 日に浜松キャンパスで実施しました．今回は特に地元企業の方々や近隣の高校生・教職員の方々を広くお招きすることとし，議論を通した研究のレベルアップもさることながら，交流を通した相互の理解や地域社会との連携深化もその目標としました．

ポスターセッションの様子（2019年 12月24日）

本シンポジウムには学部３年生以下のジュニア部門に 28 件（うち，高校生５件），学部４年生以上のシニア部門に 30 件の応募があり，それぞれポスターセッションにおいて発表を行いました．なお，シニア部門の一部についてはポスターに先立って口頭での概要講演も実施しています．また，発表終了後には参加者全員で Web 投票を実施し，優秀発表賞，概要講演賞，ポスター賞，挑戦的研究賞などの賞を得票の多かった発表に授与しました．この他の特別賞を含む各賞の受賞者は以下のページに掲載されています．

https://www.inf.shizuoka.ac.jp/news/detail.html?CN=154405

当日は 247 名（高校関係者 25 名を含む）もの方々にご参加いただき，様々な場所でとても活発な議論が行われました．また，協賛企業や珈琲研究会によるお菓子やコーヒーの提供もあり，和やかで活気溢れる催しとなりました．発表者・参加者の皆様，後援･協賛･協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます．

＊本シンポジウムの様子は静岡大学テレビジョンでもご覧いただけます．

https://sutv.shizuoka.ac.jp/video/170/2318

研究を通して学んできたこと

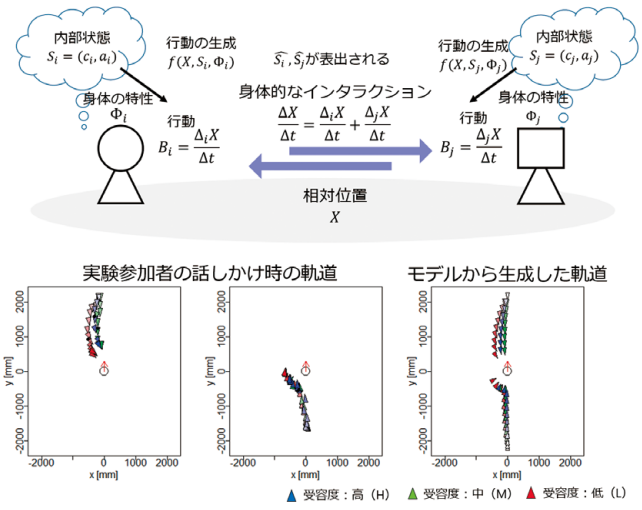
創造科学技術大学院　情報科学専攻　博士課程　坂本 孝丈

人はどうやって相手とコミュニケーションを開始し，関係を構築しているのか？これは人間の情報処理過程を考える必要のある問題です．学部時代の卒業研究以来この問題に答えるべく研究に取り組んできました．

修士課程では探索的に心理実験と人の行動の分析を行いました．学部時代に身につけたプログラミングスキルを磨きつつ，実験システムの構築やデータの分析を行いました．また論文や図書館で借りた書籍を読んで自身の見識を広げようとしていました．修士課程を振り返ると「知識を増やせば増やすほどわらかないことが増えていく」という感覚でした．「理解した」→「やっぱりよくわからない」→「ちょっとわかった」→「やっぱりよくわからない」というサイクルがずっと続いていました．自分が取り組んでいる問題の所在もうまく捉えきれていなかっように思います．

博士課程に進学するうえで「人がコミュニケーションを開始するプロセスのモデル化」を一つの目標としました．ここでいうモデル化は，最終的には数式を使って現象を説明するということになります．これで問題を定義することができるようになります．数学が得意ではないこともあり大変だったのですが，「これはプログラムで書くとこうだから，こういう式か」というのを足がかりに取り組みました．最終的には何とか納得のできるモデルを考え，心理実験を通した検証を行うことができました．

学部時代に基礎を固め，修士課程でスキルを伸ばし，博士課程で物事の考え方そのものを見直し拡張していくことができたと思います．大学の研究では，自分で問題を見つけてそれを解く方法を考えていくことになります．問題を見つけ，解決策を実行し，試行錯誤することを学ばなければ，問題から目をそむけたり他人に指示されたことをこなすだけの人生になっていたかもしれません．それを思うと，大学・大学院で紆余曲折ありながらも身につけてきたものは，今後自分が生きていくための推進力になると思います．



修士課程で得たもの

総合科学技術研究科　情報学専攻　修士課程　黒田 和矢

ゲーム実況AI「宮咲ふわら」

学部時代に狩野研究室に配属されて以来、自然言語処理及び機械学習の基礎を学び、対話システムに関する研究を行ってきました。大学院に進学した際に、最先端の技術を社会実装する力を得ることを目的として、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が主催する 2018 年度未踏 IT 人材発掘・育成事業に応募し、採択されました。「深層学習による AI 実況プレイ動画生成」というゲーム実況を行う AI を開発するプロジェクトを約 1 年間かけて実施し、プロジェクトマネージャーの指導のもとコンテンツの企画から開発、公開、知的財産の保護まであらゆる作業を自身で行いました。未踏事業での 1 年間を経て、私は自身の専門性を強く深めると共に、専門知識を活かした独創的なアイデアを形にする力を得られたと確信しています。また、他分野の最先端を行く同期との研鑽や OB・OG からの助言等を通して、自身の専門性のみに囚われない柔軟な発想力を身に着けたと自負しています。AI によるゲーム実況動画は QR コードから御覧ください。

ある夏の出来事

情報科学科　須藤 早喜

私は学部２年生の夏、大学のプログラムでアメリカの短期留学に参加しました。その土地の文化や習慣を楽しみながらも「これは日本の方がいい」「日本食が恋しい」と今まで当たり前だった生活と比較しながら、過ごしていたように思います。当時の私は、英語で話すことに躊躇する部分がありました。ホームパーティに行った際、会話している人たちから離れて、何もせずにただ座っていた自分を思い出します。ホストマザーに「会話に参加しておいで」と声をかけられ、初めて「私は何のために留学したんだろう」と自分の未熟さを痛感しました。どのような話をしたかは覚えていませんが、会話はただ座っていた時よりはるかに楽しかったという記憶はあります。言語が違っていても、人と関わる上でコミュニケーションがどれほど重要で楽しいのかを改めて感じました。そして、人が行うコミュニケーションの在り方について興味を持つきっかけの一つになったと思います。卒業研究では、二者間における対話の構造や対話中の言動に着目して研究を行い、今後も大学院にて研究を進めていく予定です。これからも人との関わりを大切にしながら、様々なことに取り組んでいきたいと思います。

先端情報学実習の思い出

行動情報学科　武田 玲志

大学生活の思い出の１つとして，私は先端情報学実習を書きます．この実習は選択授業で，いくつかのプロジェクトがあり，各担当の先生のもとで学習・研究をするものです．私は２年生のときから，行動情報学科でありながら情報科学科の先生である尾張先生のもとで，量子情報理論の勉強，研究をしました．英語で書かれた教科書で学びましたが，このことは例えばプログラミングなどでも役に立ちました．具体的には，量子力学に基づいて動作するコンピュータで機械学習を高速化できるか，というような研究を行っていました．この研究は結局そのまま卒業研究として行うことになりました．量子情報の学会でポスター発表をしたのも思い出の１つです．

この春からは名古屋大学の大学院に進学します．これまで行った研究は突き詰めると，量子力学という自然現象でどれだけ計算できるかという疑問に尽きます．大学院ではこの疑問を探求しようと思います．

練習期間で得たもの

情報社会学科　田中 歩実

「大学は、社会に出る前の練習期間だ。たくさん、いろんなことを経験しなさい。」と父に言われ、送り出された日のことを思い出します。私の４年間の大学生活は、たくさんの出来事で鮮やかに彩られています。サークル、趣味の旅行、研究室での地域連携事業、ボランティア活動、バイト…。中でも、演劇サークル「劇団 Tips」への入会は、私の人生を大きく変えました。

理由は、「雰囲気が楽しかったから」という結構単純なものでした。引っ込み思案だった私が、強行突破してでもこの縁をつかんだのは、運命だったのだと思います。先輩も後輩も関係なく遠慮のない言葉が飛び交い、笑いは絶えないけれど、ときどき厳しい毎日のサークルで、私は生涯大事にしたいと思える友人たちと出会いました。同期と思える後輩もできました。彼らと切磋琢磨 (という名の煽り合い) しながら、一つの舞台を仕上げていった経験は、何にも代えがたい私の宝物です。１人１人価値観が違う、でもそれを共有し合える空間が、楽しいな、嬉しいなと感じました。

私は、この静岡大学で経験したこと、劇団 Tips に入ったことを、心から誇りに思います。

2019年度　情報学部・総合科学技術研究科情報学専攻の就職・進学状況

Career choices of new graduates

情報学部キャリア支援室　湯浦 克彦

2019年度も情報学部と総合科学技術研究科情報学専攻では共に高い就職率を維持しています。2020年2月18日現在で、表のように学部では3学科平均で**96.8**%、研究科では**96.6**%の内定率となっています。引き続き、全員が希望の進路に進めるように支援しています。

学科・研究科		卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	大学院進学者数	内定率	進学率
情報学部	情報科学科	94	41	40	51	97.6%	54.3%
	情報社会学科	65	62	59	3	95.2%	4.6%
	行動情報学科	70	51	50	18	98.0%	25.7%
	計	229	154	149	72	**96.8**%	30.9%
総合科学技術研究科情報学専攻		59	58	56	1	**96.6**%	1.7%

2017～2019 年度学部・研究科卒業生の主な就職先

情報科学科	情報社会学科	行動情報学科	総合科学技術研究科情報学専攻
アイネス	磐田市役所	インテック	ＮＴＴ
伊藤忠テクノソリューションズ	エイチーム	内田洋行	ＮＴＴドコモ
ＳＣＳＫ	ＮＥＣソリューションイノベータ	ＨＢＡ	ＮＥＣ
ＮＥＣ	静岡朝日放送	ＮＥＣプラットフォームズ	京セラ
ＮＴＴフィールドテクノ	静岡銀行	大塚商会	ＫＤＤＩ
サイバーエージェント	静岡県庁	コーエーテクモホールディングス	小糸製作所
静岡銀行	静岡市役所	静岡銀行	ソフトバンク
島精機製作所	ジャパンネット銀行	島田市役所	東芝テック
セイコーエプソン	スルガ銀行	スズキ	デンソー
ソフトバンク	スズキ	住友理工	日本ＩＢＭ
ＴＩＳ	全日本空輸	ＴＢＳグロウディア	日本放送協会
ＴＯＫＡＩホールディングズ	電通国際情報サービス	デンソー	野村総合研究所
凸版印刷	浜松いわた信用金庫	東海旅客鉄道	日立製作所
豊橋市役所	東日本高速道路	トヨタシステムズ	富士ゼロックス
日立システムズ	富士市役所	トヨタ紡織	富士通
パナソニック	富士通	日本情報産業	三菱電機
藤枝市役所	富士通エフサス	日立システムズ	ヤフー
富士通	本田技研工業	日立ソリューションズ	ヤマハ
三菱電機インフォメーションシステムズ	三菱ＵＦＪ銀行	富士通ソフトウェアテクノロジーズ	ヤマハ発動機
ヤマハ発動機	ヤマハモーターソリューション	マクニカ	リコー

3学科を通じて、情報通信業だけでなく、製造業、公務員、金融業など幅広い分野に就職しています。情報学部では、3年次でのインターンシップや就職活動ガイダンス等に加え、学生に対してきめ細やかな面接指導等を行っています。写真は、2020年2月に行われた「業界研究セミナー」の様子です。

業界研究セミナー（2020年2月13日）

2020 年度　行事予定表

2020年

4月4日	入学式（中止）・保護者懇談会（静大TV配信）
4月6日	ガイダンス（～ 4月8日）
4月9日	前期授業開始
5月19日	全学一斉地震防災訓練
7月27日	前期試験期間（～7月31日）
7月30日	TOEIC試験
8月7日	夏季オープンキャンパス
9月16日	集中講義（～9月30日）
10月1日	後期授業開始
11月7・8日	静大祭・テクノフェスタ（浜松）
11月7日	保護者懇談会・個別面談
11月14・15日	大祭（静岡）
12月22日	集中講義（～12月25日）
12月26日	冬季休業（～1月3日）

2021年

1月4日	授業再開
2月4日	後期試験期間（～2月10日）
3月19日	学位授与式・卒業祝賀会（浜松）
3月23日	学位授与式（静岡）

お問い合わせ　〒432-8011 浜松市中区城北3-5-1 静岡大学情報学部事務局
TEL：053-478-1510・1511　FAX：053-471-0249
学務窓口 pr-gakumu@inf.shizuoka.ac.jp

Joy風 vol.24 April2020

情報学部のウェブページをご覧ください。
情報学部では、保護者・受験生・社会人・一般・企業の皆様向けに学部のウェブページを公開しています。最新情報が掲載されていますので、どうぞご覧ください。
https://www.inf.shizuoka.ac.jp/